

かながわ小選挙区

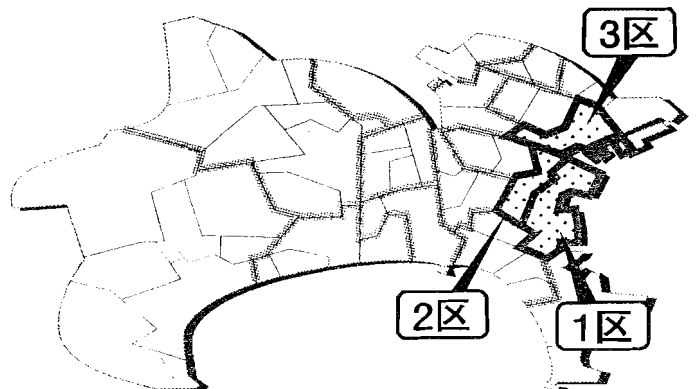
戦いの構図

●10

衆院選公示(三十日)まであと一週間と迫った。県内の十八の小選挙区では既に事実上の選挙戦に突入し、各陣営が熱のこもった訴えを続けている。立候補予定者の主張や対決の構図を三小選挙区ずつ、計八回にわたって報告する。

(敬称略、総選挙区取材班)

- ◇1区 横浜市中、磯子、金沢区(有権者413688人、男207635人、女206053人)
- ◇2区 横浜市西、南、港南区(有権者416065人、男208155人、女207910人)
- ◇3区 横浜市鶴見、神奈川区(有権者396437人、男205872人、女190565人)



②河前新  
⑤自民共

03自00民  
総務政官  
党環境大  
地区区委員長

▽1区(3人)  
松本純55  
佐藤謙一郎58  
高山修49

1区

固め、1区内で三万四千票(二〇〇三年の統一地方選)を得ている公明と無党派層獲得を課題。瓦版」で支持を広げる。派統一に伴い今回は得ることができた。前回一万票を獲得した社民が候補力を注ぐが「短期間の選挙戦なので、郵政民営化の連携も深めていく。前面に医療問題などにも票を見送る方針である。擁立を見送る方針である。池子米軍住宅地区(金沢区)の問題を取り上げ米軍住宅反対を主張。比例を軸に投票総数の一割以上獲得を目指すとしている。

松本と佐藤4たび対決

自民・松本、民主・佐藤、共産・高山が出馬を表明。過去三回つばぜり合いを演じてきた松本と佐藤の対決が焦点だ。過去の対決は松本の二勝一敗。前回は約一万四千票に、年間百五十回以上の差(約十一万一千対九万七千)で松本が雪辱した。ホームページも毎日更新。身近な話題や総務大臣政務官としての活動をまとめた「まちかど政治ネットワークで党支持層を新。身近な話題や総務大臣政務官としての活動をまとめた「まちかど政治推薦を見送られたが、会父・一郎(元衆院議員)敗の鍵を握る。